

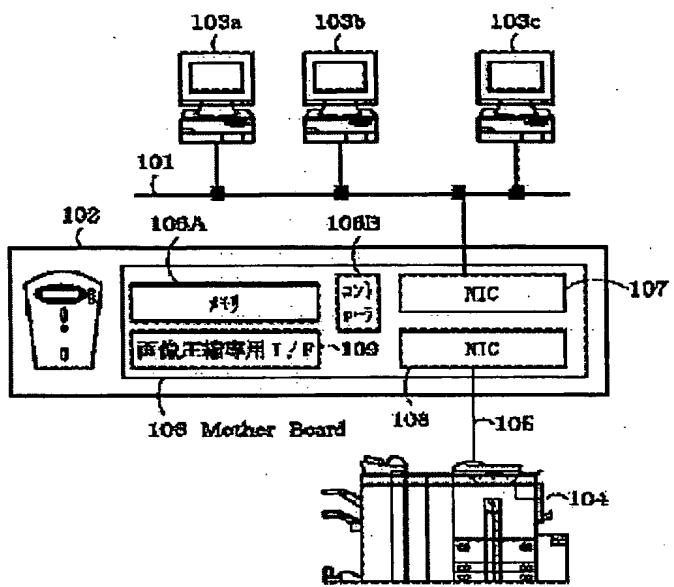
OUTPUT CONTROL DEVICE, IMAGE PROCESSOR, DATA PROCESSING METHOD, AND STORAGE MEDIUM

Patent number: JP2003015882
Publication date: 2003-01-17
Inventor: OBA YOSHITAKA
Applicant: CANON INC
Classification:
- International: G06F9/445; B41J29/38; G03G21/00; G06F3/12; G06F12/00;
G06F12/14
- european:
Application number: JP20010204379 20010705
Priority number(s):

Abstract of JP2003015882

PROBLEM TO BE SOLVED: To clarify storage positions of various programs from a server device or a client computer on a 1st network and to simplify the storing or fetching method of various programs stored in a holder.

SOLUTION: A holder allowed to be accessed from a public network 101 is prepared in a memory 106A, the prepared holder is displayed on the server device or the client computer to control access requests from the server device or the client computer and various programs in the holder are automatically updated or copied.



請求項 9 前記フォルダ管理手段は、前記フォルダをアクセスするユーザーの権限を制限可能とする機能を有する。請求項 6～8 のいずれかに記載の画像処理装置。

請求項 10 前記フォルダ管理手段は、該フォルダを複数個選択可能とする第1のユーザと、前記フォルダを複数個選択可能なユーザーの複数を選択可能とする第2のユーザとを識別して前記フォルダをアクセスするユーザーの権限を制限することを特徴とする請求項。

前記要求 14 前記フォルダ管理システムは、前記フルダをアクセスするユーザの権限を制限可能とするこ
とを目的とする。前記権限は、前記ユーザが前記フルダに接続する際の認証情報を元に、前記ユーザが前記フルダに接続する権限を決定する。

御装置と前記第1のネットワークとは異なる第2のネットワークを介して通信可能な画像処理装置におけるデータ処理方法であって、
前記第1のネットワーク上からアセス可能なフォルダを作成する作成ステップにより作成されたフォルダを前記第1のネットワーク上から接続される前記サーバ装置または前記クライアントコンピュータに表示して、前記サーバ装置または前記クライアントコンピュータからのアクセス要求を管理するフォルダ管理ステップと、

【請求項 2-3】 第1のネットワークに接続されるサーバ装置とクライアントコンピュータと前記第1のネットワークとは異なる第2のネットワークに接続される画像データから前記フォルダに各種プログラムを自動的に更新または操作するプログラム管理システムを実行させるための記憶媒体を記録したコンピュータが群衆取り可能な記憶媒体。

[請求項 15] 前記フォルダ管理システムは、該フォルダを読み書き可能とする第1のユーザーと、前記フォルダをアクセスするユーザーの権限を該フォルダを読み出し可能とする第2のユーザーを識別して前記フルダをアカセスするユーザーの権限を制限することを特徴とする請求項14記載のデータ処理方法。

[請求項 19] 前記フルダ管理システムは、前記フルダを自動的に更新または複写するプログラムを実行するデータ処理方法。
注。 [請求項 20] **[翻訳]** 前記フルダ管理システムは、該フルダを監視しきき可能とするユーザの権限を基づけたデータ処理方法。

前回問題	第1のネットワークに接続されるサーバ
第1のネットワーク上に接続される前記サーバまたは前記クライアントコンピュータから、前記サーバまたは前記クライアントコンピュータが、前記クライアントコンピュータまたは前記クライアントコンピュータ上で前記クライアントコンピュータを自動的に更新するためのデータ処理方法。	前記クライアントコンピュータが、前記クライアントコンピュータ上で前記クライアントコンピュータを自動的に更新するためのデータ処理方法。

[請求項1-7] 第1のネットワークに接続されるサーバ装置とクライアントコンピュータと通信可能な出力制御装置と前記第1のネットワークとは異なる第2のネットワークを介して通信可能な画像処理装置におけるデータ処理方法であって、
前記第1のネットワーク上からアクセス可能なフォルダを作成する作成ステップと、
前記作成されたフォルダを前記第1のネットワーク上に接続される前記サーバ装置または前記サーバへ装着位置におけるデータを前記第1のネットワークに表示して、前記サーバへ装着位置におけるデータを前記第1のネットワークに表示する表示ステップと、

【請求項2】 第1のネットワークに接続されるサーバ装置が前記クライアントコンピュータと前記第1のネットワーク上に接続される前記サーバ装置または前記クライアントコンピュータに表示して、前記サーバ装置または前記クライアントコンピュータからのアクセス要求を管理する前記オーバーレイ管理システムと、前記オーバーレイ管理システムが各端末プログラムを自動的に更新または操作するプログラムを配布したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

[請求項 18] 第1のネットワークに接続されるサーバ装置と、クライアントコンピュータと通信可能な出力制御装置とを備えるデータ処理装置。
〔請求項 19〕 第1のネットワークに接続されるサーバ装置と、クライアントコンピュータと通信可能な出力制御装置とを備えるデータ処理装置。

前記第1のネットワーク上からアクセス可能なフォルダを作成する作成ステップと、前記作成ステップにより作成されたフォルダを前記第1のネットワーク上に接続される前記サーバ装置または前記クライアントコンピュータに表示して、前記サーバ装置

複数書写するプログラム管理システム (図2-4に示すシステム) の実行を実現させるためのプログラムを記録したコンピュータが読み取り可能な

16 前記第1のネットワーク上からアクセス可能なフルダを作成する作成ステップ(図示しない)と、前記作成ステップにより作成されたフルダを

18
[機器] 104a, 104b 等のMFP104が接続されている。
[0050] MFP104a, 104bはモノクロまた

前記第1のネットワーク上に接続される前記サーバ装置または前記クライアントコンピュータに接続して、前記サーバ装置または前記クライアントコンピュータからのアクセス要求を管理するフルダル管理ステップ(図2.4)

オーマンスを優先するために、図2に示すようなネットワーク10/1を2系統に分割し、これらをバブリックネットワーク10/1、及びプライベートネットワーク10/5と呼ぶことにする。なお、10/6Aはモダリ、バブリックネットワーク10/5に接続する。

に示すステップ（S1801）と、前記第1のネットワーク上の前記クライアントコンピュータから前記フローラルダに各種プログラムを自動的に更新または複数するアプロケーションプログラム管理ステップ（S1824）に示すステップ（S18

リックネットワーク101上からアクセス可能なフォルダがコントローラ106Bにより作成され、微成されたフォルダをパリンクネットワーク101上に接続される。装置またはクライアントビュータに表示されるサーバー装置は、IPカード109と呼ばれるインターフェースで前述のN Interface Card)を専用IPカード109

[0039] 本発明に係る第2.8の発明は、第1のネジ体。

[0052] ここで、クライアントコンピュータからのアクセス要求をネットワーク上では、いわゆるDTP(Dynamic Thresholding)を実行するアーフィシャル・シーリング(Shing)を動作させ、各種文書图形を自動生成します。

[0053] クライアントコネクトワーク101は複数することにより、パブリックネットワーク101上のサーバ装置やクライアントコンピュータから各種プログラムの接続場所の所在を明確にし、かつファルダに格納された各種プログラムの操作性を自動的に更新または複写することにより、パブリックネットワーク101をベースに記述された文書／图形をページ記述語句cription Langsuに盛り込む。

前記第1のネットワーク上に接続される前記サーバ装置

【0004】MFP104は、メモリ106Aは、MotherBoard106上に動作される。これは取り出し方法を簡素化することが可能に構成されており、またプリントアウトされる。

（S1802）～（S1811）と、外
部端子部に示すステップ（図24-8）

は、専用ノード（INIC）1
る通信手段を有しており、M
プリントコントローラー102
でクライアントコンピュータ
10043 MFPとJ10-J3と組み合
プリント111は高解像度、高階調のフルカラーでスキ
ヤン、またはプリントなどが可能なフルカラーMFPま
たはモノクロMFPである。図示されていないが、プリ

外部プログラム接続可能な外部記憶装置から前記ノルダに各種プログラムを自動的に更新または複数するプログラム管理システム(図2.6に示すステップ(S2.001)～(S2.003)、図2.4に示すステップ(S1.802)～(S1.803))。

シタはこれらのほかにも直接接続されている。以降、ノーリンタを代換してプリント110a～110dとプリント111a～111dと呼ぶ場合がある。

【0046】また、スキャナ112a、112bはドットプリント1更に、プリント112a～112dと呼ぶ場合がある。

【0040】本発明に係る第2.9の発明は、前記フォルダ管理システムが、前記フォルダをアクセスするユーザ(1811)とを実行させたためのプログラムを記録し、
該コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

リ、MFP104はプリントコンピュータから画像メッセージを取り込む装置として機能し、SCSIインターフェースでプリンクネットワーク10に接続されるスキャナ112など、プライベートネットワーク105に接続されるスキャナ112など。

10

の2タイプがある。

【0047】プリントコントローラ102には、ハードウェア上2系統のネットワークインターフェースカード(NIC)を有しており、一方は、ブリッジネットワーク(bridge network)である。次に、図3

105dの構成)次に、図3
04a, 104b, 105a
説明する。但し、MFP10
05a~105dの差はフル

权限を該フォルダを読み出し可能とする第2のユーザとを
別別して前記フォルダをアクセスするユーザの権限を制
限することを特徴とする。
[0042]

ーク 101側につながる NIC 107、もう一方はブリッジ側に接続するプライベートネットワーク 105側に接続された NIC 108が存在する。

[0048] コンピュータ 103aから 103cはブリッジに接続するため、各 NIC 107、108は、各 NIC 107、108が接続する各機器に較べて説明し、必要とする機器の説明を加えることとする。

【図説明の実施の形態】〔第1 実施形態〕
〔システムの概要説明〕 図1は、本発明の第1実施形態

[0057] 図3は、図2にシントコントローラ102にジョブを送るクライアントとして機能する。図示されていないがクライアントはこれらのほかにも多種接続されている。以下クライアントを代理してクライアントコンピュータ103と呼ば組合で図である。

1004-3 カギ 回りけ：従来の面倒なシステムへの対応する。実現装置が少し複雑にならざるを得ない。

ある。[0049] 更に、プライベートネットワーク105に
は図2に示すようなMFP (Multi Function Periphera l・マルチファンクション周
辺部201とその画像データ
P部202、ファクシミリな
利用して画像の送受信を行
う。

190431 本社、圖書、販賣、出版、發行

卷之三

23

であり、4つの半導体レーザより発光された4本のレーザ光を受ける。その内の1本はミラー914、915、916を経て感光ドラム917を走査し、次の1本はミラー918、919、920を経て感光ドラム921を走査し、次の1本はミラー922、923、924を経て感光ドラム925を走査し、次の1本はミラー926、927、928を経て感光ドラム929を走査する。

[0090]一方、930はイエロー(Y)のトナーを供給する現像器であり、レーザ光に沿い、感光ドラム917上に現像器のトナー像を形成し、931はマゼンタ(M)のトナーを供給する現像器であり、レーザ光に沿い、感光ドラム921上にマゼンタのトナー像を形成し、932はシアン(C)のトナーを供給する現像器であり、レーザ光に沿い、感光ドラム925上にシアンのトナー像を形成し、933はブラック(K)のトナーを供給する現像器であり、レーザ光に沿い、感光ドラム929上にシアンのトナー像を形成する。以上4色(Y, M, C, K)のトナー像がシートに転写され、フルカラーの出力画像を得ることができる。

[0091]シートカセット1034、1035、および手差しトレイ1036のいずれかより給紙されたシートは、レジストローラ1037を通じて、転写ベルト1038上に吸着され、搬送される。各色のトナーが転写されたシートは、分離され、定着器1040によって、トナーがシートに定着される。定着器1040を受けたシートはフックバ1050により一旦下方向へ導かれてシートの後端がフックバ1050を抜けた後、スイッチバックさせて排出する。これによりフェイスダウン状態で排出され、先頭頁から順にプリント順に正しいページ順となる。

[0092]〔フェニシシャ部210の構成〕図14は、図3に示したフェニシシャ部210の構成を説明する断面図である。[0093]図14において、プリント部1103のトレイ1110にはユーザによりフェイスアップの状態でシートされたものとし、ピックアップローラ1111により最上部のシートから順に拾送する。次つて、インサータ1103からシートはそのままトレイ1101、1102へ搬送することによりフェイスダウン状態で排出される。サドルステッチャー1107へ送るときには、一度パンチチャ1106側へ送り込んだ後スイッチバックさせて送り込むことによりフェースの向きを合わせる。

[0094]〔プリントコントローラ102の構成〕図15は、図1に示したプリントコントローラ102の構成を説明するブロック図である。[0095]図15において、NIC111やSCSI1114から入力されたジョブは、入力デバイス制御部1201よりシリアルポートJCL(Job Control Language)データを受け付けた。ハカリサーバ内に入り、サーバに接続するアドレスにおいてその割合果たす。ハカリサーバと連絡する方針で、シート機械ビン(または、トレイ)を奥手前方向に子シート機械ビン(または、トレイ)を奥手前方向にシフトしてジョブ毎に出力シートを振り分けるシフト用である。

[0096]〔PDLデータとJCLの構成〕図16(a)は、電子シート機能は、コレートと呼ばれる、前述のコア部で説明した大容量メモリを持つ流れ、このバッファメモリを利用して、バффリングし、ページ順と排出順を変更する。いわゆるコレート機能を用いることで電子シートティングの機能もサポートできることを示す。[0097]図16(b)は、本解説では、上記の要約の組み合いで構成された画面を記述する言語であり、それで記述されたデータをPDLデータと呼ぶ。

[0098]〔Postscript言語〕図16(c)は、本解説による画面記述、(a)文字コードによる画面記述、(b)图形コードによる画面記述、(c)ラスタ画像データによる画像記述の3要素に分類される。

[0099]〔PDL言語〕図16(d)は、PDLは、上記の要約の組み合いで構成された画面を記述する言語であり、それで記述されたデータをPostscriptと呼ぶ。[0100]〔Postscript言語〕図16(e)は、本解説による画面記述におけるPDLデータから生成されるPostscript言語である。

(14) 25
特開2003-15882

週刊誌やパンフレットのようなブックレットを作成する

一像を形成し、トナー像がシートに転写され、出力画像を得ることができ。

[0101]シートカセット1034、1035、および手差しトレイ1108に挿入されたシートは、図には記載されていないが、製本のためのグルー(糊付け)によるバンドや、あるいはバンド後にバンド側と反対側の端面を揃えるためのトリム(裁断)などを加えることも可能である。

[0102]また、インサータ1103はトレイ1110にセットされたシートをプリントへ通さずにトレイ1101、1102、1108のいずれかに送るために、トナーがシートは、分離され、定着器1040によって、トナーがシートに定着される。定着器1040を受けたシートはフックバ1050により一旦下方向へ導かれてシートの後端がフックバ1050を抜けた後、スイッチバックさせて排出する。

[0103]これによりフェイスダウン状態で排出される。サドルステッチャー1107へ送るときには、一度パンチチャ1106側へ送り込んだ後スイッチバックさせて送り込むことによりフェースの向きを合わせる。

[0104]〔プリントコントローラ102の構成〕図15は、図1に示したプリントコントローラ102の構成を説明するブロック図である。

[0105]図15において、NIC111やSCSI1114から入力されたジョブは、入力デバイス制御部1201よりシリアルポートJCL(Job Control Language)データを受け付けた。ハカリサーバ内に入り、サーバに接続するアドレスにおいてその割合果たす。ハカリサーバと連絡する方針で、シート機械ビン(または、トレイ)を奥手前方向に子シート機械ビン(または、トレイ)を奥手前方向にシフトしてジョブ毎に出力シートを振り分けるシフト用である。

[0106]〔PDLデータとJCLの構成〕図16(a)は、電子シート機能は、コレートと呼ばれる、前述のコア部で説明した大容量メモリを持つ流れ、このバッファメモリを利用して、バbffリングし、ページ順と排出順を変更する。いわゆるコレート機能を用いることで電子シートティングの機能もサポートできることを示す。

[0107]図16(b)は、本解説では、上記の要約の組み合いで構成された画面を記述する言語であり、それで記述されたデータをPostscriptと呼ぶ。

[0108]〔Postscript言語〕図16(c)は、本解説による画面記述におけるPDLデータから生成されるPostscript言語である。

[0109]〔Postscript言語〕図16(d)は、本解説による画面記述におけるPDLデータから生成されるPostscript言語である。

[0110]〔Postscript言語〕図16(e)は、本解説による画面記述におけるPostscript言語である。

(15) 26
特開2003-15882

週刊誌やパンフレットのようなブックレットを作成するシートは、サドルステッチャー1107上で型紙されたシートは、手差しトレイ1108に挿入される。

[0111]そのほか、図には記載されていないが、製本のためのグルー(糊付け)によるバンドや、あるいはバンド後にバンド側と反対側の端面を揃えるためのトリム(裁断)などを加えることも可能である。

[0112]また、インサータ1103はトレイ1110にセットされたシートをプリントへ通さずにトレイ1101、1102、1108のいずれかに送るために、トナーがシートは、分離され、定着器1040によって、トナーがシートに定着される。定着器1040を受けたシートはフックバ1050により一旦下方向へ導かれてシートの後端がフックバ1050を抜けた後、スイッチバックさせて排出する。

[0113]これによりフェイスダウン状態で排出される。サドルステッチャー1107へ送るときには、一度パンチチャ1106側へ送り込んだ後スイッチバックさせて送り込むことによりフェースの向きを合わせる。

[0114]〔プリントコントローラ102の構成〕図15は、図1に示したプリントコントローラ102の構成を説明するブロック図である。

[0115]図15において、NIC111やSCSI1114から入力されたジョブは、入力デバイス制御部1201よりシリアルポートJCL(Job Control Language)データを受け付けた。ハカリサーバ内に入り、サーバに接続するアドレスにおいてその割合果たす。ハカリサーバと連絡する方針で、シート機械ビン(または、トレイ)を奥手前方向に子シート機械ビン(または、トレイ)を奥手前方向にシフトしてジョブ毎に出力シートを振り分けるシフト用である。

[0116]〔Postscript言語〕図16(f)は、本解説による画面記述におけるPostscript言語である。

[0117]〔Postscript言語〕図16(g)は、(a)文字コードによる画面記述、(b)图形コードによる画面記述、(c)ラスタ画像データによる画像記述の3要素に分類される。

[0118]すなわち、PDLは、上記の要約の組み合いで構成された画面を記述する言語であり、それで記述されたデータをPDLデータと呼ぶ。

[0119]図16(h)は、本解説による画面記述におけるPostscript言語である。

50

列“1C”を代入している。

[0122] 次にL1.3.3では、第1、第2パラメータが、文字列をレイアウトする用紙上の開始位置座標の大きさとY座標を表示し、第3パラメータが文字の大きさ、第4パラメータが文字の間隔を表示しており、第5パラメータがレイアウトすべき文字列を示している。要す

るにL1.3.3は座標(0, 0, 0, 0)のところから、大きさ[0, 3]、間隔[0, 1]で文字列“1C”をレイアウトするという指示となる。

[0123] 次に、図形構成R1.3.0.2を記述した例では、L1.3.2.1はL1.3.1.1と同様、輪の色を指定しており、ここでは、Cyanが指定されている。次に、LN1.4.0.7内部のルータ1.4.0.5に接続され、これらのネットワーク網は幾重にも張り巡らされて、広大な接続形態を構築している。

[0124] さらに、ラスタ画像情報R1.3.0.3を記述した例では、L1.3.3.1は、ラスタ画像を表数1mag.0.1に代入している。ここで、第1パラメータはラスター画像の画像タイプ、及び色成分数を表わし、第2パラメータは1色成分あたりのビット数を表わし、第3、第4パラメータは、ラスタ画像のx方向、y方向の画像サイズを表す。

[0125] 第5パラメータ以降は、ラスタ画像データである。ラスタ画像データの個数は、1画像を構成する色成分数、及びx方向、y方向の画像サイズの積となる。L1.3.3.1では、C, M, Y, K画像は4つの色成分(Cyan, Magenta, Yellow, Black)から構成されるため、ラスタ画像データの個数は(4×4×5)=100個となる。次に、L1.3.3.2は、座標(0, 0, 0, 5)のところから、0.5×0.5の大きさにimage1をレイアウトすることを示している。

[0126] 図1.6の(B)は、1ページの中で上記3つの画像記述を解釈して、ラスタ画像データに展開した様子を示したものである。

[0127] R1.3.0.1, R1.3.0.2, R1.3.0.3は、それぞれのPDLデータを展開したものである。これらのラスタ画像データは、実際にはC, M, Y, K色成分毎にRAM1.2.0.8(あるいは、ImageDisk1.2.0.7)に展開されており、例えばR1.3.0.1の部分は、各C, M, Y, KのRAM1.2.0.8に、C=0, M=0, Y=0, K=2.5が書きかれており、R1.3.0.2の部分は、それぞれ、C=2.5, M=0, Y=0, K=0が書き込まれる。

[0128] プリンタコントローラ1.0.2内では、クライアントコンピュータ1.0.3(あるいは、プリンタコントローラ自身)から送られてきたPDLデータは、PDレーターのままか、上記のようにラスタ画像に展開された形で、RAM1.2.0.8(あるいは、ImageDisk1.2.0.7)の中から出力ページを

取するページ設定カラムであり、必要に応じて保存されている。

[0129] 「ブリックネットワーク1.0.1」図1.7は、図1に示したネットワーク1.0.1aの構成を説明するブロック圖である。

[0130] 図1.7に示すように、ハブリンクネットワーク1.0.1は前述の図1のような構成がルータと呼ばれるネットワークを相互に接続する装置により接続され、LAN(Local Area Network)と呼ばれる異なるネットワークを構成する。

[0131] また、LAN1.4.0.6は、内部のルータ1.4.0.1を介して、専用回線1.4.0.8を通して、別のLAN1.4.0.7内部のルータ1.4.0.5に接続され、これらのネットワーク網は幾重にも張り巡らされて、広大な接続形態を構築している。

[0132] 図1.8は、図1に示したハブリンクネットワーク1.0.1上のデータの流れを説明する図である。

[0133] 図1.8において、送信元のデバイスA(デバイス1.4.2.0.a)に存在するデータ1.4.2.1があり、そのデータは画像データでも、PDLデータでも、プログラムであっても構わない。これがハブリンクネットワーク1.0.1を介して受信先のデバイスB(デバイス1.4.2.0.b)に転送する場合、データ1.4.2.1を細分化してデータ1.4.2.2のように分割する。この分割されたデータ1.4.2.3, 1.4.2.4, 1.4.2.6などに対して、ヘッダ1.4.2.5と呼ばれる送り先アドレス(TCP/IPプロトコルを利用した場合には、送り先のIPアドレス)などを付加し、パケット1.4.2.7として依次ハブリンクネットワーク1.0.1上にパケットを送つて行く。データ1.4.2.8と呼ばれるデータ1.4.3.0へのヘッダ1.4.3.1が削除するデータ1.4.3.2は分離され、データ1.4.3.3にあつたデータの差動に再生される。

[0134] 「プリンタドライ」次に图1.9を用いて、プリンタコントローラ1.0.2またはクライアントコンピュータ1.0.3からプリンタドライバにより画像データをプリンタに送信する行程について説明する。

[0135] 図1.9は、図1に示したクライアントデータ0.2またはクライアントコンピュータ1.0.3に接続される表示装置に表示されるプリンタ操作画面の一例を示す。図であり、プリンタドライバは、プリント動作を指示するG UIであり、これで指示することによりユーザーは所望の設定パラメータを指示して、所望の画像イメージをプリンタなどの送信先に送る事が可能となる。

[0136] 図1.9において、1.5.0.1はプリンタドライバのウインドウであり、その中にユーザー設定可能な設定項目が表示される。

[0137] 1.5.0.2はデータセットとなる出力先を選択する送信先選択カラムである。一般的には前述のMFP 1.0.4, 1.0.5あるいは、プリンタ1.0.7である。

[0138] 1.5.0.3はジョブの中から出力ページを選択するページ選択カラムである。

[0139] 1.5.0.4は、プリンタコントローラ1.0.2内では、クライアントコンピュータ1.0.3(あるいは、プリンタコントローラ自身)から送られてきたPDLデータは、PDレーターのままか、上記のようにラスタ画像に展開された形で、URLを入力・表示する。

[0140] 図1.9において、1.7.0.1はプリンタドライバのウインドウであり、その中では同じネットワーク内のプリンタコンピュータ1.0.3a, 1.0.3b, 1.1.3やプリンタコントローラ1.0.2がウインドウ1.7.0.4内に表示される。

[0141] 1.7.0.2はメニューバーで、ファイルを開いたり、印刷などを操作できる。1.7.0.3は adresバーで、URLを入力・表示する。

[0142] 図1.2は、図2.1に示したクライアント1.7.0.4内に表示されるプリンタ操作画面の一例を示す。図2.1において、1.7.0.1はプリンタドライバのウインドウであり、その中では同じネットワーク内のプリンタコンピュータ1.0.1.1で、その中では同じネットワーク内に属するかのいずれを選択指示している。1.7.0.2は、手動インストールをスルバーアップツールまたは終了するかを判断した場合には、ステップS1.8.0.2へ進み、図2.0に示したCD-ROM1.6.0.1を自動起動させ、インストーラを起動させる。

[0143] 一方、ステップS1.8.0.3にインストール方法で、インストーラは自動インストール、手動インストールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0144] 1.7.0.3は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0145] 1.7.0.4は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0146] 図2.2において、プリンタコントローラ0.2は、他のコンピュータと同様に、ネットワーク共有するプリンタ1.7.0.5a～1.7.0.6cとネットワーク共有オルダ1.7.0.6から構成される。

[0147] 1.5.0.4は部数を指定する部数設定カラムである。1.5.0.5は前送信先選択カラム1.5.0.2にて選択された送信先選択カラム1.7.0.6に対する操作指示で表示されるウインドウ例を示すのであり、図2.1と同一のものには同一の符号を付してある。

[0148] 1.5.0.6は、プリンタの各種御プログラムを保持することが可能である。このオルダのアクセス権限は、スーパーユーザのみが読み書き可能であり、一般ユーザは読み出ししか可能でない。ユーザによってアクセス権限を変化させることにより不要データの蓄積による記憶装置の容量圧迫を防ぎ、またユーザの使用したプリンタの各種プログラムをネットワークに接続するだけでプリンタなどの機器を操作するプログラムの探査が容易となる。

[0149] 1.5.0.7a～1.7.0.7cはプリンタドライバオルダで、例えばオペレーティングシステム別に用意されており、本実施形態では、Windows(登録商標)のOS別に用意されている例を示すが他のオペレーティングシステム(例えばLinux)であってもよ

い。

[0150] 1.5.0.8は、本発明に係る情報処理装置におけるデータ処理順の一例を示す。図2.0は、図1に示した画像形成システムにおけるプログラム処理例を説明する図であり、図1と同一のものには同一の符号を付してある。なお、図1には、図2に示したようなグラフィックネットワーク網1.1.1が接続されていてもよい。

[0151] 1.5.0.9は、本発明に係る情報処理装置におけるデータ処理順の一例を示す。図2.1は、本発明に係る情報処理装置におけるデータ処理順の一例を示す。図2.1において、1.7.0.1は示したネットワーク共有オルダ1.7.0.6に各種プログラムをグラフィックコンピュータ等からライセンス権限アカウントコンボート1.0.1を介して、S1.8.0.1～S1.8.1.1は各ステップを示す。

[0152] 1.5.1.1先ず、ステップS1.8.0.1で、インストーリッシュアップしているユーザがアクセス権をもつスルバーアップツールがあるかを、例えばユーザID等から確認判定し、スルバーアップツールであると判定した場合には、ステップS1.8.0.2へ進み、図2.0に示したCD-ROM1.6.0.1を自動起動させ、インストーラを起動させる。

[0153] そして、ステップS1.8.0.3にインストール方法で、インストーラは自動インストール、手動インストールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0154] 一方、ステップS1.8.0.3にてインストール方法で、自動インストールをスルバーアップツールを選擇して、1.7.0.1はプリンタコントローラ1.0.2に示したクライアント1.7.0.4内に示したウインドウ例を示す。

[0155] 1.7.0.5は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0156] 1.7.0.6は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0157] 1.7.0.7a～1.7.0.7cは、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0158] 1.7.0.8は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0159] 1.7.0.9は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0160] 1.7.0.10は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0161] 1.7.0.11は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0162] 1.7.0.12は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0163] 1.7.0.13は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0164] 1.7.0.14は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0165] 1.7.0.15は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0166] 1.7.0.16は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0167] 1.7.0.17は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0168] 1.7.0.18は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0169] 1.7.0.19は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0170] 1.7.0.20は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0171] 1.7.0.21は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0172] 1.7.0.22は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0173] 1.7.0.23は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0174] 1.7.0.24は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0175] 1.7.0.25は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0176] 1.7.0.26は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0177] 1.7.0.27は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0178] 1.7.0.28は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0179] 1.7.0.29は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0180] 1.7.0.30は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0181] 1.7.0.31は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0182] 1.7.0.32は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0183] 1.7.0.33は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0184] 1.7.0.34は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0185] 1.7.0.35は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0186] 1.7.0.36は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0187] 1.7.0.37は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0188] 1.7.0.38は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0189] 1.7.0.39は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0190] 1.7.0.40は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0191] 1.7.0.41は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0192] 1.7.0.42は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0193] 1.7.0.43は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0194] 1.7.0.44は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0195] 1.7.0.45は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0196] 1.7.0.46は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0197] 1.7.0.47は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0198] 1.7.0.48は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0199] 1.7.0.49は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0200] 1.7.0.50は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0201] 1.7.0.51は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0202] 1.7.0.52は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0203] 1.7.0.53は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0204] 1.7.0.54は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0205] 1.7.0.55は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0206] 1.7.0.56は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0207] 1.7.0.57は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0208] 1.7.0.58は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0209] 1.7.0.59は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0210] 1.7.0.60は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0211] 1.7.0.61は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0212] 1.7.0.62は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0213] 1.7.0.63は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0214] 1.7.0.64は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0215] 1.7.0.65は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0216] 1.7.0.66は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0217] 1.7.0.67は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0218] 1.7.0.68は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0219] 1.7.0.69は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0220] 1.7.0.70は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

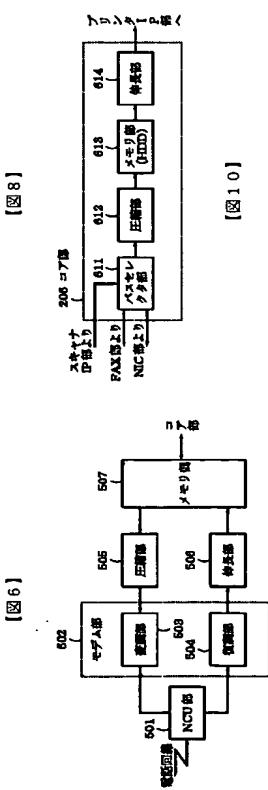
[0221] 1.7.0.71は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0222] 1.7.0.72は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0223] 1.7.0.73は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

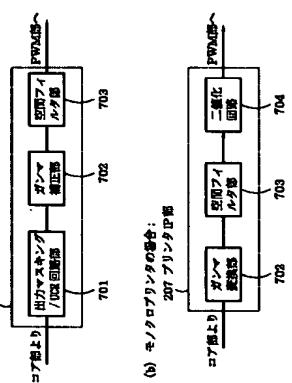
[0224] 1.7.0.74は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

[0225] 1.7.0.75は、手動インストールをスルバーアップツールをスルバーアップツールをスルバーアップツールまたは終了するかのいずれを選択指示している。

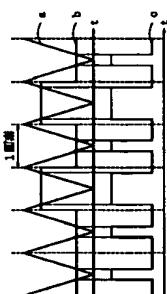


1691

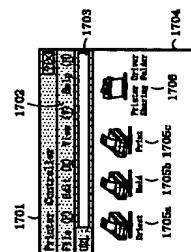
(a) カラープリンタの場合は:
207 プリンタ IP



[図11]

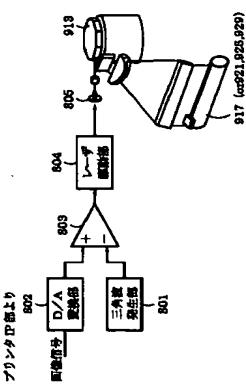


[四二二]



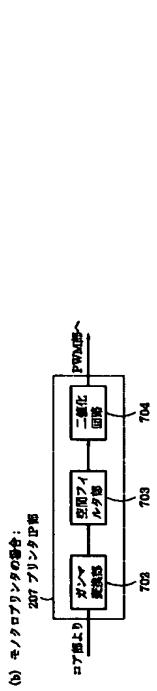
[四八一]

[图10]

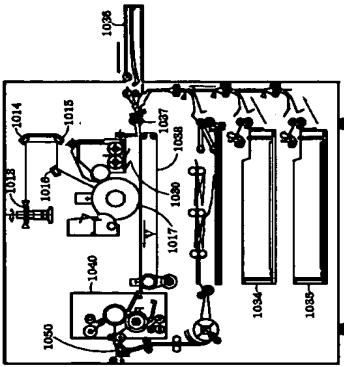


11

5

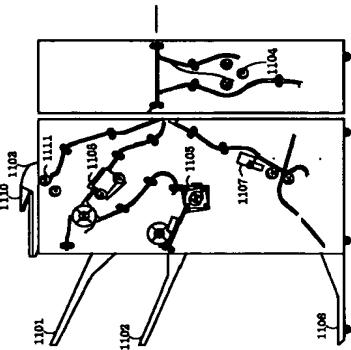


131

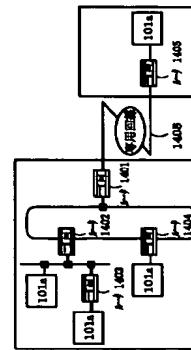


[図12]

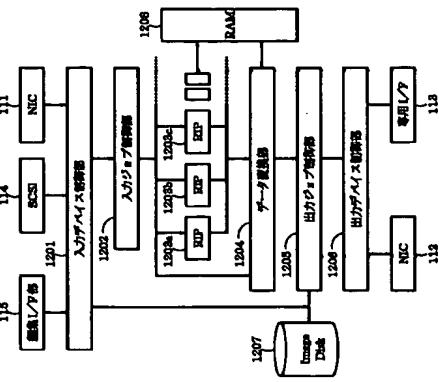
[図14]



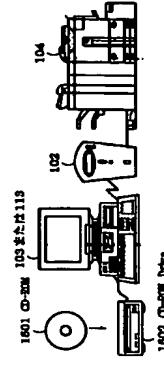
[図17]



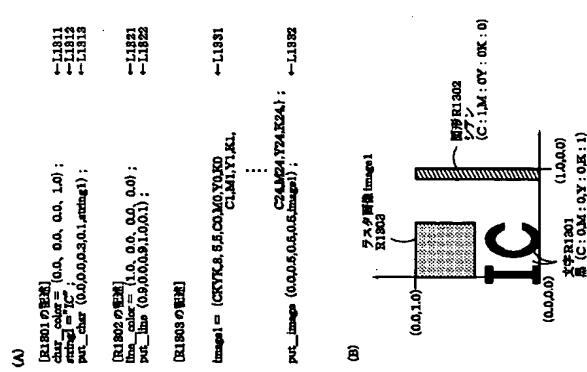
[図15]



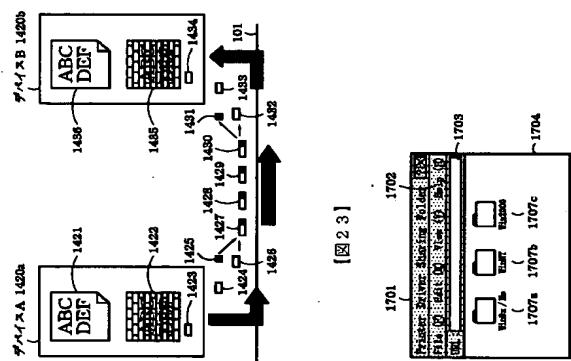
[图20]



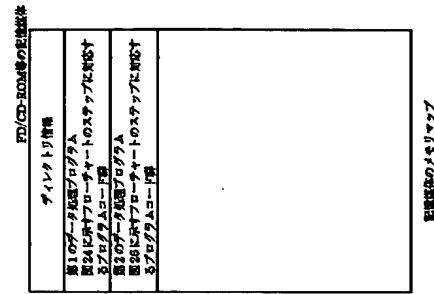
[図18]



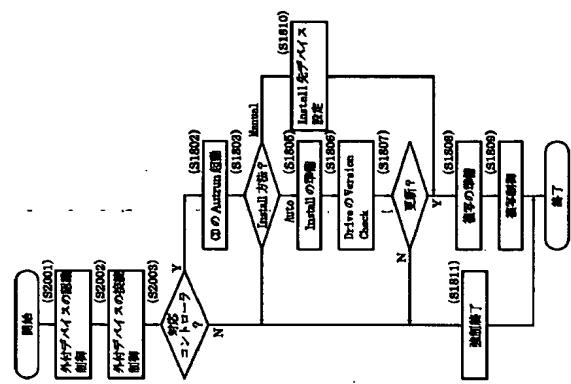
181



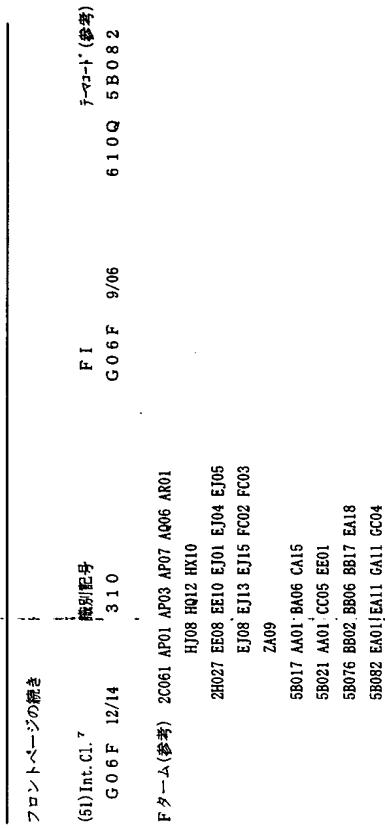
271



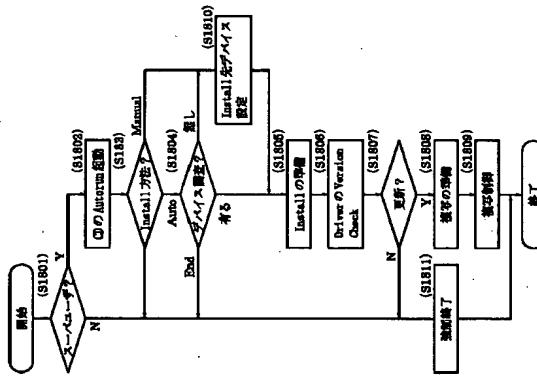
261



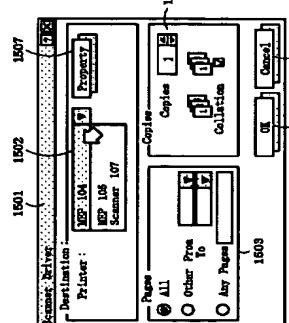
271



四二四



191



15

